

今の暮らしを、少しだけ良くしていく。

リノベーションまちづくりとは？

「まちの潜在資源を活用して、
都市・地域の経営課題を解決する」
まちづくりの手法の1つです。

今まで価値を見出していなかったようなまちの資源を再発見・再解釈し、再編集していきます。新しいものをゼロからつくるのではなく、空き家や公共空間など今あるまちの資源を上手く使いながら小さなチャレンジを同時多発的に生み出すことがまちに変化を生みます。こうした民間主導の取り組みを地道に継続していくことでエリアの価値につながり、エリアの持続可能な発展につながります。



THINKING

まちの変化は、小さなきっかけから。

「点」と「面」で考えるリノベーションまちづくり

リノベーションまちづくりは「点」と「面」の考え方が大切です。

一つの遊休ストックを活用した「点」のプロジェクトが生まれ、周囲のsmallエリア内で連鎖するように次のプロジェクトが生まれていくことで、点が「面」となりエリアが活性化していきます。さらにまち全体から見たとき、そのエリアが一つの点となり、他の地域においても新たな取り組みが波及しリノベーションまちづくりという考え方で繋がっていくことで、まち全体が面的に再生します。



1 点が集まって
エリアの波及力を意識した「点」のプロジェクト



2 面になって
smallエリアが「面」になる



3 面が点になり
まちの全体に
smallエリアが「点」になり
まち全体が「面」として再生

※smallエリア…生活者が身体的に認識できる、およそ半径200~300mのエリア

世田谷区池ノ上
エリアリノベーション

2025 — 2026

田舎のおな
かいか成りつつ、
すぐ都会に
行くことができる。

学校がある

いけせいが好き!

ちあんなかよ、
フレンドリー

祭りがたのしい!

意外と空が広くて好き!

CONCEPT BOOK

池ノ上コンセプトブック

暮らしの楽しみ方を、伝えていく。

このまちの「ちょうどいい心地よさ」を、 これからも続けていくために。

池ノ上には、商店の会話があり、子どもたちの声があり、人が立ち止まる場所があります。生活のなかに商店街があり、まちのなかに人のつながりがある。そんな当たり前前の風景は、誰かが守り、誰かが受け継いできたものです。けれど今、その風景は少しずつ変わりつつあります。だからこそ、このまちの良さを見つめ直し、未来につないでいきたい。

このコンセプトブックは、池ノ上というまちのこれからの暮らし方を考えるための一冊です。



CONCEPT BOOK

23 WARDS OF TOKYO

SETAGAYACITY IKENOUE 池ノ上エリア

池ノ上には、魅力的な個店が点在し、子育てや教育の環境も整い、新宿や渋谷といった都心へのアクセスも抜群。

そこに暮らす人の温かさあいまって、「ちょうどいい心地よさ」が漂っています。

そんな魅力に惹かれ、池ノ上に移り住む人や住まいを求める声は年々増えています。

一方で、かつてまちの風景をつくっていた個店が徐々に姿を消し、住宅へと変わりつつあります。

数字を辿ってみても、その変化は静かに、しかし確かに進行していることが見えてきます。



数字で見る



世田谷・池ノ上

出典：経済産業省・内閣官房「RESAS（地域経済分析システム）」

住宅賃貸業の付加価値額 (2022年時点)	順位	自治体	金額 (億円)
1位	神奈川県横浜市	18,755	
2位	愛知県名古屋市	11,807	
3位	東京都世田谷区	11,114	
4位	北海道札幌市	10,439	

全国3位

池ノ上駅周辺個店数の推移



